

令和7年度第5回運営推進会議議事録

日 時： 令和8年1月29日（木） 14:00～15:15

会 場： グループホーム萌 レクリエーション室

出 席 者：

利用者家族	1名	出雲市役所高齢者福祉課様	1名
地域住民の代表	8名	利用者様	2名
欠席	0名	その他（代表・ホーム長・職員）	4名

令和7年度第5回運営推進会議の開会と新職員紹介

- 雪の影響で日程を先週から本日に変更。また、開始時間を14時に早めて開催。
- 来年度以降も14時開始を検討予定。
- 職員紹介：

会議の目的と議題の共有

- 目的：日々の取り組みや活動を地域の皆様に知っていただくこと。
- ポイント：
 - 認知症勉強会（後半）とアンガーマネジメント研修の共有。
 - 意見交換会の実施。
 - 学びや情報の提供。
- 議題：大きく4つのテーマについて話す。

施設状況と今年度の目標

- 施設状況：
- 2026年の目標：「人が育ち みんなが誇れる施設へ」
 - 行動指針1：笑顔の挨拶で信頼を育て、丁寧な言葉で寄り添う。
 - 行動指針2：学びの輪を広げ、みんなで成長する職場にする。
 - 行動指針3：地域とのつながりを持ち、全員で支える介護を目指す。
 - 12月・1月の活動報告
 -

地震発生時の対応と反省・今後の避難計画

- 地震概要：1月6日10時18分頃、島根県東部を震源とする震度5強の地震が発生。10分おきに3回揺れた。
- 初期対応：職員6名（うち新人2名）で対応。扉開放、ガス元栓ロック後、2回目の揺れの後に歩行が不安定な8名を含む利用者をエレベーターで2階から1階へ避難させた。
- 対応に関する迷いと議論：
 - 避難タイミング：市役所の指導は「揺れている間は動かず頭を守る」。
 - エレベーターの使用：停電リスクから使用は不適切と結論。

3. 避難場所: 施設が耐震性を持つ場合、施設内待機が望ましいとの意見と、市役所の「1階へ降りるよう」いう指導の間で議論。
 4. 避難の優先順位: 車椅子、歩行器、自立歩行者の誰を優先するかが課題。
- 避難訓練の見直し点:
 - 落ち着いてから避難する。
 - エレベーターは使用しない。
 - 利用者の避難優先順位を把握する。
 - 今後の対応方針:
 - 施設利用者の約半数が車椅子のため、災害時の安全を最優先し、1階に移ることについて家族の理解を得る必要性を議論。市役所とも相談予定。
 - 建物の堅牢性を考慮し、移動しない方が安全な場合もあるため、避難基準を設けるべきとの意見が出た。
 - 命の優先順位を考え、多くの命を救うための対応が必要。家族会で避難訓練について報告し、災害時対応について事前に説明し、理解を得ておくことを提案。

認知症勉強会：終末期について

- 目的: 本人が「私らしく過ごしたい」を叶えるために家族ができるることを考え、今からできることを一つ決める。
- テーマ: 延命治療を考える、本人の生き方を理解・整理する。
- 延命治療:
- 個人の生き方と価値観に関するワークショップ:
 - 自分や家族が「人生で大切にしてきたこと」や「どのような生き方をしてきたか」を振り返った。
 - 書籍「ありがとうファイル」を紹介。家族が本人にインタビューして作成する形式で、互いを深く知る機会になる。
- 認知症進行時のコミュニケーション:
 - 言葉以外の「五感」(触れる、聞く、香る、見る、感じる)を通じたつながりが重要。手を握る、好きな声を聞かせるなどで安心感を与えられる。
- 家族として大切にしたいことの共有:
 - 参加者からは「つながり」や「触れ合い」を大切にしたいという意見が出された。面会に頻繁に来る、好きな食べ物を持ってくるなどの宣言もあった。

アンガーマネジメント研修報告

- 結論: 実践は難しいが、意識し続けることで衝動に振り回されず、広い視野で物事を捉えられるようになる。

試食会と会議全体の振り返り

- 試食会: 勉強会後、気分転換に焼きたてのパンが提供された。
- 会議の振り返り: 防災、認知症、アンガーマネジメントは互いに関連し、普段から意識すべき内容であると感想が述べられた。地震訓練は多様な状況を想定する必要があり、認知症では当事者の思いを考えることが重要だと学んだ。

(次の段取り)

- ・ 3月頃にパン教室を計画する予定。日程が決まり次第、案内する。
- ・ 災害時の車椅子利用者の1階への移動方針について、市役所に相談する。
- ・ 2月・3月の室内での活動を企画・実施し、次回の会議で報告する。
- ・ 3月に開催予定の家族会で、避難訓練と災害時対応（命の優先順位など）について議題として取り上げることを検討する。
- ・ 来年度の運営推進会議も皆様にお願いする。

次回・運営予定

次回開催：3月26日（木）（開始14時に前倒し提案、案内状送付）

アンケートより（N=10）

1. 介護全体の内容はわかりやすかったですか？

とてもそう思う 9名 そう思う 1名

2. 萌の取り組みは理解できましたか？

とてもそう思う 8名 そう思う 2名

3. 職員の説明や雰囲気から「安心・信頼できる施設」と感じましたか？

とてもそう思う 9名 そう思う 1名

4. 今後も地域の一員として、この施設に関わりたいと思いましたか？

とてもそう思う 7名 そう思う 3名

5. 地域に開かれた施設としての姿勢に共感できましたか？

とてもそう思う 9名 そう思う 1名